

寄らねがえう？

温泉のある公民館

～人生の先輩方へ～



同好会の発表

湯の入荘では、「お年寄りの公民館」として、いろいろな「お楽しみ講座」を企画してあります。案としては国際交流員のジョアンさん（今月のジョアン）で有名ですね。との国際交流や、舞踊、郷土史教室、コカリナ、水彩画、泥ダンゴ作りなんてのも出ています（9月より開催予定）。他にも各種同好会があり、年末には発表会をして楽しんでいただいています。普段も、いろいろなことをし、一日中温泉に浸かってテレビを観て、仲間とワイワイ楽しんで過ごすことができますので、是非ご利用ください。

ちゃんと磨けてる??

8月9日(土) 午前10時から、障害者歯科学界のトップ、松本歯科大学の小笠原正教授(障害者歯科学に限らず、歯科学に精通。著書も多数)が、飯山市母子通園施設ゆきんこ園(飯山市総合福祉センター)に来て、「歯磨きのしかた」についてお話ししてくださいました。普段の歯磨き、仕上げ磨き、その他、歯についてナンでもきけるチャンスです!!

～子育て中のママさん・パパさんたちへ～

小さなお子さんをお持ちのママさん、パパさん、お子さんをムシ歯から守りたかったら、来ないとソソですよ!! (参加申込み等不要)

開いてて良かった?! 市内児童館等早朝開館

社協では、市の「飯山市内の子どもたちをもっともっと健やかに大きく育て、さらに保護者に安心して働いたり、育児に専念してもらえようとする政策(「子育て支援政策」)に基づき、市からの委託を受けて市内に7つの児童館・児童センター・児童クラブ(以下、「児童館等」と呼びます。)を運営しています。それぞれの児童館等には保護者会があり、毎年、その年度の初めに保護者総会



開館直後は静かに読書や宿題など...

「もっと早い時間から開けて欲しい」という意見が出て、一昨年度より試行的に夏休みのみ、児童センター・館で「早朝開館」として8時から開館しました。ちなみに、普段は8時30分が開館時間です。それが非常に好評で、今年度、市の子ども課との話し合いの結果、小学校の長期休業中に限り(春・夏のみですが)、クラブも含め全館で実施することとなりました。



午後はマルマル「思いっきり」遊び!!

そのため、まずは早朝開館を利用したい児童を「申込書」によって把握し(つまり、「申し込み」した児童のみ8時から来れる、ということ)です。そして午後のお帰りの集中する時間(午後5時～6時ごろ)にボランティアさんのお力をお借りして、なんとか乗り切ることのできる態勢づくりができ上がりがつつあります。高校生や大人のボランティア

声

老後を如何に生きるか

人、それぞれの生き方があると思います。現役を退いて子供達に後をまかせ、「悠々自適の生活」、それは唯も願うことだと思えます。

しかし、人生なかなか自分の思うようにはならないようです。如何に自分らしく充実した生活を送るかが問題です。それには何か目的を持って少しでもそれに近づく努力が必要ではないでしょうか。「それは自分自身の問題だ。人にあるこれ云われる筋合いはない」と思はれる人もあるでしょう。しかし、世の中は人と人とのもたれ合い、一人では生きられないのです。

人との交わりはいろいろな出逢いがあると思えますが、老人クラブ活動もその意味では人と人との出逢いの場でもあると思えます。多くの人と接することにより、また新しい人生が開けるかも知れません。自分の未知の世界に挑戦しましょう。

市ノ口 平野 富太郎

一緒に...!!

皆さんすでにご存知かと思いますが、現在の総合福祉センターが移転します。ちなみに、新名称は「飯山市福祉センター」です。これについてはいずれおつてまた...

行き先は、本町のけんしんさん跡地です。「ほていや」さんと「池川時計店」さんの間です。そして、それに伴う「ズターイベント」として『映画上映会』を行います。結構映画好きの方が多い飯山、一緒に「何を観るか」とか、「すごい映写技術をもった人があそこにいるらしい」とか、話し合いながら決めませんか? 「実行委員会」の立ち上げから始まります。なので、その名称もまだ決まっています。ただの「実行委員会」じゃつまらないですもんね。そこからへんから始まります。一緒にやってみませんか?

是非!!
お問合せ・お申込み
TEL 62-28840

歌

飯山 丸山 昌

・明けのこし 雨ふる森の時鳥
何処へ去りしか 鳴く声のこし
・荒寒とせし月面の地平線に地球は昇る
青く光る地球を見知る
・山里にたれ植たるや 桐咲きて
娘の成長を願ふ思ひを
・通園を泣く声高くこぼむ子の
乳離れ寂し母を離れず

柏尾 増山 節子
・さみどりの そよぐ田面 遙に
棚田も植わり 里はしずかに
・遠き日に 戦禍くぐった 笑顔が並び
指折りに 肩動かしてと
機能体操 輪になつて
・雪の日も 薬湯と笑顔が
待つてる デイサービス

秋津 三井 サチ
・その花の名にふさわしき 昇り藤
常盤 金井 幸子
・ばら園に 今年もデイで見にいきて
見事に咲きし 心いやさ
田植すみ 見渡す限り 緑なり
蛙の泣き声 聞かれなくなり
奈良沢 石沢 タツエ
・ばら園の 甘い香りや 夏帽子
・梅雨寒むの スイッチいれる コタツかな

編集後記

私事ですが、娘が二人、息子が一人おります。長女が年長、次女が年少、長男が1歳半です。市は、皆さんご存知の通り、右の記事もありますが、子育て支援にチカラを入れています。財政的な支援はもちろん大切ですが、本当に有難いと思っています。しかし、実際のところ、それ以上に大切なのは家族内での「支え合い」ではないかと最近になってつくづく身にしみて感じています。

特に、育児を含め、家事のほとんどを母親が行っているという家庭が多いと思いますが、その母親自身を支える支援(家族内の、または行政・社協等によるそれ)が必要ではないでしょうか。以前、「子育て座談会」というのある地区で開催し、非常に好評でしたが、それはひとえに、その座談会が「母親が「母親」でないくても良い時間」であったからではないかと思っています。

本当に必要なとされる、真の「子育て支援」、今のそれも良いですが、より良い「子育て支援」とは何なのか、市民全員でもう一度考え直し、模索していかなくてはいいないような気がしています。

(編集者 木鋪)